



公益
社団法人 京都府放射線技師会

京放技ニュース

7 / 2012
(通算626号)

発行：(公社)京都府放射線技師会 TEL&FAX.075-802-0082 E-mail:kyohogi@mbox.kyoto-inet.or.jp
HP アドレス http://www.kyohogi.jp/

〒604-8472 京都市中京区西ノ京北壺井町 88-1 二条プラザ

振込 郵便口座 01070-3-11019 ゆうちょ銀行 店名 一〇九 店番 109 当座 口座番号 0011019
店名 四四八 店番 448 普通 口座番号 3438322

轟会長が厚生労働大臣表彰を受賞されました

受賞者選考委員会 河本 勲則

公益社団法人日本放射線技師会創立 65 周年を記念して、診療放射線業務に関し顕著な功績があった者に対し、厚生労働大臣表彰が行われることになり、京都府健康福祉部より推薦依頼がありました。当会受賞者選考委員会より推薦者として、京都府民、市民の健康増進と診療放射線技術の向上に寄与し、さらには京都府放射線技師会の発展と事業推進、公益社団法人移行に甚大な功績を残した轟 英彦会長を推薦いたしました。この度、厚生労働省医政局長から表彰の通知をいただき日本放射線技師会創立 65 周年記念式典において表彰状授与式が行われました。

厚生労働大臣表彰受賞おめでとうございます。轟会長の益々のご活躍とご健勝を祈念し、心よりお慶び申し上げます。



厚生労働大臣表彰を受賞された轟会長（左端）

厚生労働大臣表彰を受賞して

(公社)京都府放射線技師会会長 轟 英彦

平成 24 年 6 月 1 日 (金) 東京パレスホテルにて開催されました、(公社)日本放射線技師会創立 65 周年並びに公益社団法人移行記念式典におきまして、厚生労働大臣表彰を受賞いたしました。

53 歳で受賞できましたのは、会員の皆様のご理解とご協力、並びに(公社)京都府放射線技師会の役員一同のご協力の賜物だと心より感謝申し上げます。

振り返れば、平成 8 年から北地区理事 (2 年) として、会の活動に役員として入り、常務理事 (庶務) 4 年、副会長 4 年 (庶務理事兼務 2 年)、会長 6 年の 16 年間で皆様と一緒に、なんとか役目を果たすことができました。この間、歴代会長のもと、あるいは会長として、京都府放射線技師会創立 50 周年・60 周年・法人設立 20 周年等々の事業にも関わり、公開講座に関しては京都で 10 年前に初めて開催し、全国の先駆けとなりました。また、今年は公益社団法人移行という一つの節目にもなりました。微力ながら会活動に全力を傾けてきたことに対しての功労賞とっております。今後も会長職として、また、今年から日本放射線技師会の地域理事としてもうしばらく頑張りますのでよろしくお願いいたします。

私は常に「継続は力なり」を理念に何事も行ってきたと思います。大小は関係なく皆様もコツコツと努力されることを期待いたします。また、今まさに診療放射線技師の真価を問われる時代に来ております。「信頼・感謝・創造」を合言葉に進まなければなりません。会員の皆様はじめ、これから会員になろうと考えている方、「数は力なり」です。自ら何をすればよいかを考え、行動して頂きたいと思います。今後とも会員と技師会の発展を願っております。

栄えある診療放射線業務功労者厚生労働大臣表彰の御受賞を心からお祝い申し上げます。

今日までの多大なご功績とご努力に対し深く敬意を表しますとともに、今後ますますの御活躍をお祈り申し上げます。

京都府知事 山田 啓二

平成 24 年 5 月 12 日に行われた公益社団法人京都府放射線技師会第 1 回通常総会にて、轟会長より推薦枠で河本副会長と 10 名の常務理事が就任しました。以下、新就任理事のあいさつです。

副会長 河本 勲則

通常総会において 4 期目の副会長として御承認いただきました京都第二赤十字病院 河本で御座います。前期 2 年間は轟会長の下、各理事協力で無事に当会の諸事業を遂行できましたのは、京都府会員の皆様のご支援の賜物であり大変感謝申し上げます。

今年は、公益社団法人移行により府民、市民の皆様の健康増進と医療放射線の安全を推進する事業を中心に展開することになります。なお一層のご協力、ご理解をお願いいたします。

さて当会も会員減は通年の問題であり、会員増に向けて執行部は、試行錯誤し対策を考えておりますが効果が出ていません。新しい技師会が発展するためには若い技師の力が必要です。厚生労働省や京都府が認可する職能団体として当然のように入会できる技師会を目指して、環境づくりをしていきたいと思っております。また京都府、京都市、医師会との関係も強化し、診療放射線技師の地位向上を図りたいと考えています。京都府放射線技師会の発展と公益社団法人としての新しい歴史を築くためには伝統を守り、新しいものを率先して取り入れられる組織作りが重要課題であると考えています。

会員の皆様なお一層のご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。

庶務理事 皿谷 弘樹

この度、庶務理事として 2 期目を務めさせていただくことになりました。1 期目は、社団法人から公益社団法人に昇格するための準備の真っ最中でありましたが、大きな目標であった公益法人化が達成された現在、改めて担務の多様さと担務量の多い庶務理事としての重責を痛感している次第です。会長、副会長との緊密な関係を保ちながら、技師会活動が円滑に運営されることに重点を置き、柔軟な姿勢で理事の皆様と共に力を合わせて技師会の発展のため微力ながらも情熱を持って、取り組んで行こうと思っています。

今後はますます京都府民らの公益を意識した技師会運営が求められます。どうか会員の皆様の一層のご理解、並びにご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

財務理事 武部 義行

財務理事となって今期で 8 期目に入りました。昨年は、一年を掛けて公益法人取得のための会計基準作成を行ってきました。公益法人取得の任務の一端をチームの一員として完走できてよかったと感じています。これから公益法人として新しいスタートを切らなければなりません。会運営が少しでもスムーズに、より活発に遂行できるように、これからもサポートし努力したいと思っています。

簡単ですが今後とも、よろしく願いいたします。

学術理事 原口 隆志

前年度に引き続き、平成 24・25 年度の学術を担当するとなりました。今期で 3 期目となりましたが、前回同様、夜間開催や市民公開講座、若手技師に発表の機会を設けるなど、できるだけ幅広く、多くの技師を対象に研修会を開催するとともに、基礎講習会やフレッシューズセミナーなどの日放技主催の研修会を開催するなど、会員の日常業務に役立てる情報などを、学術という側面より発信し会員の皆様のサポートが出来ますよう活動していきたいと思っております。

また、平成 25 年度は近畿地域学術大会も京都で開催の予定となっており、ますます多くの活動をこなすべく、気を引き締めて準備をしております。

他理事や委員はじめ、会員の皆様のご協力のもと、京都放射線技師会の発展に全力を尽くしていきますのでよろしくお願い致します。

編集理事 中島 智也

編集事業を担当して 2 期目になります。前期は慣れるのに必死でしたが、今期はそれなりに業務も理解できました。京都府放射線技師会の活動をはじめ、各会員への情報発信を、スムーズに、的確に、伝わりやすいように試行錯誤しながら書籍の発行を行ってゆきます。

— 広報・渉外理事 新井 喬

前回より引き続き、平成 24、25 年度の広報・渉外事業を担当することになりました。当会は今年度に公益社団法人を認可され、公益性のある事業活動をとおして一般の方々に対して私たちの職能や業務内容をアピールする必要があります。

その一方で、私たちの職場環境もよりいっそう厳しくなっていることも感じています。国家資格の技師免許を取得したら安心という安穩とした考えは改めて、免許取得から始まりで《組織から必要とされ自立した社会性のある技師と社会から認知される職能》を目指す必要性があります。

そのためにも、当会の会員のみなさまは自らさまざまな情報を取得していただき、当会の事業活動からいろいろな情報を会員の皆様に向けて発信していきたいと思ひます。

— 組織調査理事 久保田 裕一

平成 24、25 年度組織調査委員会を担当いたします久保田です。診療放射線技師の職に就いて 20 年を越し、周りの環境は大きく変わりました。機器の進歩、業務の多様化、業務量の増加など、個々のスキルアップが常に要求されています。皆様も日々努力されていると推察します。しかしそれだけでは所属の組織にしか認めてもらえません。診療放射線技師として社会に認められるためには、唯一の職能団体である技師会として努力する必要もあると思ひます。微力ではありますが、頑張っけて取り組みたいと思ひます。会員の皆様のご協力をよろしくお願ひします。

— 学術・組織調査両丹担当理事 城下 克明

この度、平成 24、25 年度 京都府放射線技師会 学術・組織調査委員会の両丹地区を担当することになりました。

平成 24 年 5 月 1 日付けで京都府放射線技師会も「公益社団法人」に移行し、気持ちを新たにして、私自身の地区理事任期中に目標として掲げてきました「地区会員の方々に対して何が出来るのか」をいま一度整理し、両丹地区会員の方々の意見や提案に耳を傾けて京都府放射線技師会と両丹地区とのパイプ役を全力投球で務める事で、両丹地区の活性化や組織力の強化につながる組織作りを、今年度地区理事の山添氏や地区委員の方々と取り組んでゆきたいと考えています。

両丹地区の先輩方が築いてこられた京都府放射線技師会の中の両丹地区活動を断承しつつ発展していけますように精一杯がんばりますので、皆様ご協力ならびにご指導をよろしくお願ひいたします。

— 厚生理事 中川 稔章

平成 24、25 年度 厚生委員会の理事を担当する中川です。理事として 2 期目となりますが、会員相互の親睦を図るための大切なこの厚生事業を、各理事や委員のみなさま、会員のみなさまの協力のもと、1 期目にできなかった事など反省しながらより一層頑張りたいと思ひますので、よろしくお願ひします。

— 情報理事 中田 博之

このたび情報委員会理事に就任しました、中田博之と申します。

情報委員会は、インターネットを活用し会員、府民の皆様へ情報を提供することが任務となっています。今期から公益社団法人を取得したことにより、本会は府民の一般の皆様へ有用な会になる使命も与えられました。いかに診療放射線技師という職業を理解してもらうか、また医療放射線をわかりやすく理解していただくかを課題としてホームページの作成を行っていきます。

あわせて会員の皆様にも、迅速に情報をチェックしていただけるよう、さらなる改良を進めていきます。ご意見、ご感想も是非お寄せください。よろしくお願ひします。

— 管理士理事 山根 稔教

前期より引き続き、平成 24・25 年度と管理士会を担当することになりました山根稔教です。昨年は、福島原発事故による放射線災害のサーベイ活動に参加したり活動報告を行ったりしてきました。また、線量計に関する講習会も開催することができました。今期も引き続き放射線管理や機器管理等をテーマに講習会を開催し知識向上を目指すと共に放射線の啓発活動にも携っていきたくて思ひます。皆様のご参加とご協力よろしくお願ひします。

お礼ー公益社団法人取得に際してー

公益社団法人京都府放射線技師会 副会長 北村 真

平成 24 年 5 月、新緑がまぶしい時節、社団法人京都府放射線技師会が、公益法人格を取得し公益社団法人京都府放射線技師会として出発点に立てたことを、心よりお祝い申し上げます。これも、ひとえに会員諸兄の、本会の事業をより公益性の高いものとし、府民国民の皆様様の健康と保健に貢献できる、自他ともに認める会に発展させたいとの強い意志の賜であると思います。

この度このような、誉れを頂けたのは会員の皆様のご活躍は勿論のことですが、今日を築き上げてくださった諸先輩のお力が多大な後押しとなったことも忘れることはできません。

昭和 23 年 日本エックス線技師京滋支部として発足し、昭和 58 年 社団法人京都府放射線技師会が設立されました。この間多くの会員の皆様、会長をはじめとする役員の皆様のご苦勞には敬意を表します。現代のような便利な機器が無い時代に、いち早く滋賀県、大阪府、兵庫県などと連携を図り、技師の資質づくりをされ、更には国家試験の準備をされました。京都では、京都府の組織作りに両丹地区、山城地区、市内と奔走され、そこで規定や定款、財務など今でも十分通用するような地盤を築いていただきました。特に初期の頃からニュースの発行、研修会の開催、事務所の設立、法人格の取得は、今回の公益法人取得に於いて大きな支援となったことは、確かな事実です。

世代間を超えた交流が持てる本会のような組織は、他の学会や研究会などでは類を見ません。本会の開催する研修会や、総会など多くの先輩の姿を見受けることが出来ます。時代により表現方法や、若干の感覚の差異はあるものの、この職業団体が好きな人たちが、集まっていることに間違い無いと思います。

平成 18 年からは轟会長を軸とする執行部がスタートし、「感謝・信頼・創造」をメインテーマに掲げています。創造とはつくりだすことを意味します。つくりだすとは、かたちの有るもの、無いもの、大きいもの、小さいものと、いろいろとあるはずで、相手の事を思いやる気持ちには、想像力が欠かせません。医療の安全、府民への健康促進の啓蒙、思いやりなどは則ち想像力と言っても良いと考えています。それには十分な知識と健全な肉体を抱擁できる心を創造しなければなりません。

相手を思う心と応える気持ちがあれば、求められる人に成長するでしょう。そして信頼が生まれることに感謝することです。患者様、スタッフ、関連団体と言った多くの方々と係わって、私達は生かされていることを想像することは容易いと思います。多角的な視点に立って物事を観て、感じて、考える。そして、府民、国民の健康に貢献出来る技師会を創造することが求められます。私はメインテーマをこのように理解しています。そして、何時の日か廻り廻って本会が多くのの人々に支持され感謝される日が来るのを願います。

今回の申請に際しては、轟会長、河本副会長は何度となく府庁に赴き担当部署の方と折衝を行っていただきました。お二人の粒々辛苦の結果と感謝します。財務担当の武部理事は、見事に財務処理をこなされました。

常務理事、地域理事をはじめ、各委員の皆様に対して、この二年間は公益法人取得に際しての満足いく回答がなかなか行えずご迷惑をおかけしたことと思います、それにもめげずに会員の皆様に向き合っていたいただいたことに謝意を表します。最後に忘れてはならないのは事務所の森永様です。森永様がいないと執務は動かないと言っても反論する人はいないでしょう。その功績ははかりしれません。私達が、行政書士さんや代行会社を使わずに認定にこぎ着けたのは、面々がそれぞれの役割を果たした所産だと思えます。全国的にみても自力で認定を得た団体は少ないでしょう。

公益社団法人京都府放射線技師会の会員を誇りに思うと同時に弥栄を祈ります。

* 紙面の都合、一部内容を変更しています。全文は京都府放射線技師会 HP に掲載しています。

第 542 回研修会「大腸 CT の現状」報告

中井記念病院 診療技術部部長代理 松岡 孝明

16 列以上の CT 装置にて炭酸ガス注入機を用いて行った場合、600 点が追加されるという診療報酬改定が 1 月に決定しました。中井記念病院でも数年前から大腸 CT を施行されていたということで、松岡先生に CTC (CT Colonography) についてご公演いただきました。



中井記念病院は 80 床の急性期病院で、CT 装置は回転速度 0.6 秒の SIEMENS 社 SOMATOM Emotion16 を使用し、ワークステーションはテラリコン社 Aquarius NET とアミン社の ZIO2 を使用しています。炭酸ガス自動注入機はエーザイ社「プロト CO2L」です。CTC にて認可されている炭酸ガス自動注入機は現段階ではこれのみです。この装置のパネルには直腸の内圧の測定値が表示されています。以前は 24 ~ 25mmHg 以上の高圧力で施行していたのですが、それでは被験者の腹部の膨満感が強く、術者にとっても炭酸ガスが深部に入りにくいというデメリットもあり、最近では 18 ~ 20mmHg と直腸内圧を低めに設定して行っています。付属のカテーテルには逆止弁が付いており、ガスは出入り可能ですが、残渣は出てこないようになっています。当施設は注腸も行っていますが、今後は CTC に移行していくものと考えています。

CTC のメリットとして、検査時間が短い (約 10 分)、体位変化などが必要ないことから、その分検査時の苦痛が少なく、また臨床的に問題となる 5mm 以上のポリープの描出能も比較的良好であること、この他にも、他の大腸検査に比べて大腸穿孔などの可能性が非常に低く、また内視鏡が入らないような狭小化しているような箇所があったとしても、それ以降の深部結腸の観察が行える事、CT 検査の利点でもある腫瘍と周辺臓器の関係の描出可能である事、などが挙げられます。デメリットとしては被ばくの問題、質的診断が注腸 X 線検査に比べても劣る事 (これは画像診断には殆ど言える事かも知れませんが)、それから、下剤をかけるなど前処置が必要 (内視鏡でも同様) などあります。また病変の描出に関しては、平坦型隆起の病変に関しては感度が低い事や粘膜の色調変化などが観察できないこと等があります。実際の検査の流れですが、患者に穴開きトランクスと検査着に着替えを行って頂いた後に、CT 検査台にまず腹臥位になって寝て頂き、そのまま炭酸ガス注入を行います。そのままの姿勢で位置決め撮影を行います。腹臥位の際には、胸と恥骨の高さにある程度の枕を入れ、腹部全体が寝台に潰されないようにしています。そのまま腹臥位のスキャンを行い、その後、仰臥位スキャンを行います。検査時間は Total10 分程度です。

● Volume Data の消化管分野への応用の背景

診断の場では造影剤を用いた CTA、心臓 CT、術前マッピングなどのヨード系の造影剤で標識された高い CT 値の血管や臓器などを 3D 画像として表示していましたが、画像処理装置の高度化により、CT 値の差で消化管などの管腔臓器が表現できるようになり、今までは Fly Through として仮想大腸内視鏡として表現し、観察する事がされてきました。VGP (Virtual Gross Pathology) 画像が表現できるようになり、管腔を展開させて表示できるようになり、腸管全体を一画面でほぼ大腸全域が観察できるようになったことで、読影についても飛躍的に短時間でより高精度で行えるようになったと考えています。

● CTC の病変検出率について

アメリカの文献によると、10mm 以上の病変に関しては CTC の特異度が 87% となっている。大腸内視鏡の特異度が 80 数% なので、それと変わらない感度なのがかかりますが、CTC 検査前に大腸内視鏡を施行しているのが疑問点ではあります。が、この文献以降、アメリカでは CTC の検査が普及するようになってきている。済生会熊本病院の坂本先生の文献では大腸内視鏡検査を Golden Standard として CTC と比較した場合、隆起型 I s が 60.0%、I sp が 100%、I p が 100%、平坦型の II a が 25.0%、LST が 100%、粘膜下腫瘍の SMT が 100% の感度と良好であったとしている。形状が隆起しているならばかなり高感度に検出できることになる。当施設では CTC を行うに当たり、関係部署を対象に研修会を行っている。主な内容は、検査内容及び前処置また現時点で注意をする疾患など（大腸憩室炎（重度）、閉塞性大腸疾患、ヘルニア（嵌頓）の場合は穿孔の可能性があるので）について説明を行い、CTC 検査実施が好ましくないなども説明している。

●前処置の方法について

大腸内視鏡検査に準じた前処置としてゴライテリー法（等張液法）が一般的であったが、それだと便残渣は少ないが水分残渣が多いという不具合がありました。当施設でボランティアを募り、前処置の方法を FG-1「CTC 用検査食」を用いている。前処置の内容は前日の昼食にカレーライスとコンソメスープ、水 500ml とバリウム 8g、夕食に親子丼とお吸い物、水 500ml とバリウム 8g。就寝前にマグコロール P を水溶したものとバリウム 8g を服用。検査当日の朝食にコンソメスープという方式で現在は行っています。

「CTC 用検査食」と共にバリウムを服用してもらっているのは、腸管壁に残った残渣をバリウムで標識する事が目的で、残渣と隆起病変を区別する「fecal tagging」を行うためである。またこれ以外に水分残渣もバリウムで比較的均一に標識する事で、電子的に腸管洗浄する「electronic cleansing」という処理をすると、残渣もある程度は除去できます。現在は、これらを標識するにおいて CT 値 400HU 程度の CT 値になる事を目指しています。

●撮影プロトコルに決め方について

当施設で使用している 16 列 CT 装置だと、息止め時間が 20～30 秒になります。64 列だと 7 秒ほどで済みます。息止め時間が長い場合、呼吸や蠕動運動によるモーションアーチファクトが発生し、病変があるかのように画像を構築してしまうので、息止め時間を考えると CT の列数は、16 列以上で、できれば 64 列以上が好ましいと考えます。

また、線量については自作ファントムで評価を行った結果、隆起病変の描出に関しては SD が悪くとも判断できますが、陥凹病変では、SD が 12.5 までは許容範囲で、SD15 を超えると境界が判断できなくなることがわかりました。結果、当院では、SD10～12 を目標に現在は撮影を行っています。これは、腹部単純 CT とほぼ同等の線量をかけないといけないので、被ばく低減は今後の課題でもあります。近年盛んに行われている逐次近似など被ばく低減の技術に期待したいと思います。また大腸の疾患は S 状結腸に多く発生するとされており、骨盤に囲まれている事を考慮し、当院では SD10～12 を現在は目標に撮影しています。

その後、症例から学ぶこととしていくつかの症例を紹介していただきました。VGP 画像で病変部を Fly Through と摘出写真などスライドで示され、実際にモーションアーチファクトで偽病変に見えた画像や、fecal tagging や electronic cleansing 処理した画像などの詳しい説明も共に紹介していただきました。

第 3 回理事会報告 平成 24 年 6 月 9 日

議長に久保田理事、書記に丸山理事を選任し 15 時に議事に入った。

I. 経過報告及び計画に関する件**1) 経過報告及び計画 (轟会長)****(経過報告)**

- 5月23日 次期理事登記書類提出 (京都地方務局)
- 5月26日 和歌山県放射線技師会創立60周年記念式典 (アパローム紀ノ国・和歌山)
- 6月1日 日本放射線技師会創立65周年記念式典 (パレスホテル・東京)
- 6月2日 日本放射線技師会総会 (科学技術館・東京)
- 6月3日 静脈注射(抜針)講習会 (日放技教育センター)
- 6月9日 平成24年度京放技第3回理事会 (京放技会議室)
- 6月10日 第47回京都病院学会 (池坊短期大学)
- 6月16日、17日 PMET 診療放射線技師新人研修会 (大阪府医師共同組合)
- 6月19日 看護協会研修会 (京都府看護協会)
- 6月24日 基礎技術講習「MRI」(京都府立医科大学基礎医学学舎)
- 7月7日 全地区委員会、第543回研修会、フレッシュ診療放射線技師の集い (ホテルセントノーム京都)
- 7月14日 平成24年度京放技第4回理事会 (京放技会議室)
- 9月1日 近畿地域教育委員会議、近畿会長副会長会議 (大阪府放射線技師会事務所)

2) 各委員会報告及び計画**【庶務】 皿谷理事**

- 5月31日 現在会員数 492 名 (名誉会員除く)
- 内訳：正会員 463 名、名誉会員 6 名、賛助会員 29 名 (社)
- 新入会 1 名、転入会 2 名、転出 1 名、平成 24 年度新入会累計 1 名
- 委員会報告
- 5月対外文書 114 件、発刊文書 6 件
- 新入会 2 名の承認

【財務】 武部理事

- 平成 24 年度会費納入状況 4 月末日現在 81 名
- 平成 23 年度未納者 16 名
- 5 月会計収支報告書説明
- 会員資格喪失(除籍) 通知書送付 4 名 (1 名住所不明にて送付なし)
- 夏季ボーナス前後の会費納入のお願い通知を 7 月号ニュース掲載

【学術】 原口理事

- 6月24日 基礎技術講習「MRI 検査」予定 (京都府立医科大学基礎医学学舎)
- 7月7日 第543回研修会予定 (ホテルセントノーム京都)
- 7月27日 第544回研修会予定 (京都テルサ)
- 8月26日 フレッシュヤーズセミナー開催予定
- 8月26日 医療画像情報精度管理士移行講習会開催予定
- 第544回研修会演題募集の要請
- 学術委員 4 名の承認

【編集】 中島理事

- 5月14日 6月号ニュース編集作業
- 5月21日 6月号ニュース校正作業
- 6月18日 7月号ニュース編集作業予定
- 6月25日 7月号ニュース校正作業予定
- 各理事へ就任挨拶原稿提出を要請

【広報・渉外】 新井理事

- 6月5日 第47回京都病院学会第5回実行委員会 (COCON 烏丸)
- 6月9日 第47回京都病院学会前日準備会予定 (池坊短期大学)
- 6月10日 第47回京都病院学会開催予定 (池坊短期大学)
- 6月27日 第39回くらしと健康展第1回実行委員会開催予定 (京都府医師会館)
- 7月3日 第47回京都病院学会反省会開催予定 (COCON 烏丸)
- 7月下旬 第39回くらしと健康展第2回実行委員会開催予定
- 日放技のアンケート調査について選択肢のない設問があり内容に不備があると考えられる
- 日放技依頼レントゲン週間開催について「くらしと健康展」での併催は不可
- 広報・渉外委員 1 名の承認

【組織調査】 久保田理事

- 6月5日 組織調査委員会開催 (厚生委員会と合同)
- 新卒者への入会案内、「フレッシュ診療放射線技師の集い」の案内発送
- 全地区委員会案内、各地区理事会承認分地区委員宛て発送
- 7月7日 全地区委員会開催予定 (ホテルセントノーム京都)
- 11月頃 京放技学遊会開催予定
- 各地区理事に地区委員への全地区委員会出席案内を要請

【厚生】 中川理事

- 6月5日 厚生委員会開催 (組織・調査委員会と合同)
- 6月8日 「フレッシュ診療放射線技師の集い」打合せ (ホテルセントノーム京都)
- 7月7日 「フレッシュ診療放射線技師の集い」開催予定 (ホテルセントノーム京都)

【情報】 中田理事

- 5月20日 京放技ホームページ更新 (タイトルを「公益社団法人」に変更、ロゴマーク色彩変更)
- 5月28日 京放技ホームページ更新
- 情報委員 1 名の承認
- 【管理士】 山根理事
- 6月20日 原発事故サーベイ活動の講演予定 (大阪医科大学附属病院)
- 9月 線量計校正の研修会開催予定 (京都医療科学大学)
- 11月 管理士会研修会開催予定

【受賞者選考委員会】 河本副会長

- 日本放射線技師会創立 65 周年記念式典において轟会長が厚生労働大臣表彰を受賞された

II. 地区経過報告及び計画に関する件**【北地区】 古谷理事**

- 6月中に地区委員会開催予定

【中地区】 楢理事

- 連絡網にて基礎技術講習 MRI と 534 回研修会の案内を配布
- 地区委員 4 名の承認

【東地区】 平川理事

- 4月1日 連絡網にて日放技ポイントの消失調査、新入職者の紹介依頼を配信
- 5月3日 連絡網にて第1回通常総会資料、委任状投函催促、新入職者紹介依頼を配信
- 5月30日 連絡網にてフレッシュ診療放射線技師の集い、基礎技術講習 MRI の案内を配信確認、新入職者紹介依頼を連絡網にてまわす

【西地区】 丸山理事

- 6月14日 地区委員会開催予定 (向日回生病院)

【南地区】 渡里理事 (代、皿谷理事)

- 5月16日 地区委員会開催 (宇治徳洲会病院)
- 8月 地区委員会開催予定 (宇治徳洲会病院)
- 地区委員 5 名の承認

【両丹地区】 山添理事

- 6月1日 連絡網にて春季研修会、全地区委員会、第543回研修会、フレッシュ診療放射線技師の集い、基礎技術講習 MRI 案内を配布
- 6月16日 両丹地区春季研修会予定 (京都府立与謝の海病院)
- 地区委員会予定 (京都府立与謝の海病院)
- 地区委員 3 名の承認

【西南部地区】 松元理事

- 5月28日 連絡網にて基礎技術講習 MRI、第543研修会案内を配信
- 6月 地区委員会予定
- 地区委員 4 名の承認

III. その他**1) 日本放射線技師会総会報告 (北村副会長)**

6月2日に科学技術サイエンスホール(東京)にて第72回公益社団法人日本放射線技師会定期総会が行われた。そこで轟会長が厚生労働大臣表彰を受賞されている。日放技の活動として、4万7千人ほど現場で活躍しているすべての診療放射線技師に対して、静脈注射(抜針)講習会を実施する予定であるとの説明がされた。その他のフレッゾーン業務(バリウムの調剤と投与、RI薬剤の調剤)に関しても今後対応していく予定である。4月に行われた診療報酬改定にて機器管理、保守管理の項目が実現できなかったのは、事前に行った実態調査の対象数が足りなかったのが主な理由である。診療放射線技師国家試験を診療放射線技師が作成していくように働きかけているが、昨今、大学、大学院卒の診療放射線技師も増えてきているので、厚生労働省と文部科学省としても前向きに対応していただいている。日放技の役員改正が行われ、田城監事が日放技監事に、轟会長が近畿地域放射線技師会会長に選任された。日本放射線技師会という名称を、日本診療放射線技師会に改名された。福島第一原発救護所への放射線技師派遣は7月31日をもって終了となる。日放技会員情報システムの不備に対する謝罪があり、事務所に専門の担当者を常任させる予定である。JART6月号に同封されているアンケートが次回の診療報酬改定に必要なので、各会員並びに、会員が所属している施設より回答されることを願う。

2) 静脈注射(抜針)講習会について (河本副会長)

6月3日に日放技教育センターにて静脈注射(抜針)講習会が行われ、河本が出席した。厚生労働省の「チーム医療の推進に関する検討会」にて「診療放射線技師の業務範囲見直しに関する検討」が行われた。そこで、CT、MR造影検査後の静脈路の抜針及び止血を行うことへの制度改定を目指し、十分な研修を受けた者には許可をすることで厚生労働省と検討している。今年はその講習会を全国で8施設、近畿では2施設(兵庫、京都府)の開催となる予定。来年以降は各都道府県で開催し、5年以内に全国のすべての診療放射線技師に受講してもらう予定である。京都府では1月20日に開催予定。この講習会には「CT、MRI造影検査での検査後の抜針」、「キープされて

いるルートへのエクステンションチューブの接続、取り外し]、
「血管造影検査でのインジェクターのコネクション接続」を想定している。

3) 退会手続きについて (北村副会長)

ある退会希望者から、今年度会費の月割り支払いを希望されているが、京放技と日放技は会費の月割りを入会時、退会時とも

に認めていません。

次回理事会は、平成 24 年 7 月 14 日 (土) 16 時より京放技会議室にて開催予定。

議長に城下理事、書記に松元理事を予定。

以上、各議案についてそれぞれ採択し承認された。

(文責 丸山)

7 月(第 544 回)研修会のお知らせ

7 月研修会は教育講演とともに、若手と学生による発表の場を企画いたしております。
会員の皆様におきましてご多忙のこととは存じますが、多くのご参加をお待ち申し上げます。

日 時：平成 24 年 7 月 27 日 (金) 18:30 ~

場 所：京都テルサ東館 視聴覚研修室

会 費：技師会会員及び学生は無料 非会員 500 円

尚、社会ポイント対象となります。会員カードをご提示ください。

主催：公益社団法人京都府放射線技師会

宇治武田病院 放射線科 原口 隆志 0774-25-2578

会費納入のお願い

今年度の会費納入はお済みでしょうか？夏季の賞与に合わせて速やかな会費納入を、よろしく
お願いいたします。会活動は会員の会費で単年度ごとの運営となっていますので、重ねてお願い
いたします。

会費は、日放から届いた専用の振込用紙を使って納入をお願いします。専用の振込用紙をなく
された方は、京放技事務所 **Tel 075-802-0082** に連絡をお願いいたします。

▶ 8 月号予告

新地区理事あいさつ

全地区委員会、フレッシュ診療放射線技師の集い、第 543 回研修会報告

第 3 回理事会報告

会員異動

その他

▶ 7 月以降の京放技活動予定

7 月 7 日 (土) 第 543 回研修会、全地区委員会
フレッシュ診療放射線技師の集い

(ホテルセントノーム京都)

7 月 27 日 (金) 第 544 回研修会

(京都テルサ東館)

会 員 異 動

【住所変更】

ケアストリームヘルス株式会社

〒 550-0011 大阪市西区阿波座 1-9-9 阿波座パークビル 3 F

TEL 06-6534-7090 FAX 06-6534-7137

【新入会】

出口 紘平氏 松下記念病院 (西南部 4)

大石 妙枝氏 京都大学附属病院 (東 4)

【転出】

田中 史男氏 医仁会武田総合病院 (南 1) 大阪府放射線技師会へ